

第27回 中部バイオテクノロジーシンポジウム —産学官で考える医療・食・環境の未来—

◆日時：平成29年1月17日（火）13:30～16:30

◆場所：愛知県産業労働センター ウィンクあいち 12階

名古屋市中村区名駅4-4-38（別添地図参照）

（名古屋駅桜通口からミッドランドスクエア方面 徒歩5分）

◇ 会議室1202（12階）：基調講演、講演1～3

◇ 会議室1206（12階）：コーヒープレイク、懇親会

対象：NPOバイオものづくり中部会員、会員からの招待者、その他

◆参加費：無料（懇親会は会費制1000円、NPO会員及びNPO会員からの招待者は無料）

●基調講演「名古屋大学における医療機器開発の新しい取組について」

名古屋大学 医学部附属病院 先端医療・臨床研究支援センター

副センター長・病院教授 **水野 正明** 氏

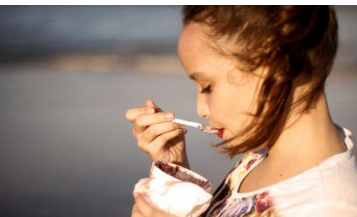
【講演概要】名古屋大学医学部附属病院では、先端医療・臨床研究支援センターを拠点に中部先端医療開発円環コンソーシアム、中部医療産業化ネットワーク、メディカルデバイス産業振興協議会、名大関連病院ネットワーク等と連携し、切れ目のないシーズ発掘と育成、並びに臨床試験を強力に推進しています。今回は、医療機器開発における、大学・アカデミアの最新の取組事例について皆様にご紹介いたします。



●講演1「桑名市総合医療センターの地域食材を使った新しい取組み」

桑名市総合医療センター 理事長顧問・管理栄養士 **岩田 加壽子** 氏

【講演概要】桑名総合医療センターは新しく生まれ変わった病院です。それはハードにとどまらず、ソフト面においても大きな特徴を持つ病院となっています。入院用の食事は、地域食材や地域の企業と開発したものが並びます。このような病院食を作り上げてきた第一線からの報告とその中に持つ想いをご紹介します。



●講演2「嚥下食とその周辺規格」ニュートリー株式会社

R&D部 第2商品開発グループ長 **谷山 洋平** 氏

【講演概要】日本の高齢化は急速に進んでいます。肺炎は、日本人死亡原因の第3位であり、そのおよそ9割は75歳以上の高齢者であります。なかでも「誤嚥性肺炎」はその7割を占めており、高齢者にとって楽しみの1つである食事が死亡リスクになっています。そのリスクを回避するため、弊社が取り組んでいる嚥下食とそれらに関わる制度をご紹介します。

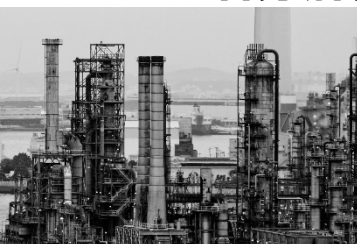


●講演3「油分解微生物を使った革新的排水処理技術」

名古屋大学 大学院工学研究科 教授 **堀 克敏** 氏

【講演概要】名古屋大学堀研究室は、微生物、中でも細菌と言われる単細胞生物をターゲットとした研究室で「界面微生物工学」と「排水処理・環境浄化」という二つの大きなテーマを中心に、基礎研究から実用化までを一貫して手掛けています。今回はその中から革新的な排水処理技術についてご紹介いたします。

※写真はすべてイメージです。



主催：特定非営利活動法人バイオものづくり中部・名古屋大学協力会

【講演スケジュール】

○ご挨拶（13：30～13：40）

●基調講演（13：40～14：30）

「名古屋大学における医療機器開発の新しい取組について」

○コーヒープレイク（14：30～14：50）同会場12階 1206

●講演1（14：50～15：20）

「桑名市総合医療センターの地域食材を使った新しい取組み」

●講演2（15：20～15：50）

「嚥下食とその周辺規格」

●講演3（15：50～16：20）

「油分解微生物を使った革新的排水処理技術」

●質疑応答（16：20～16：30）

○閉会

○懇親会（16：45～18：00）同会場12階 1206

※会費制1000円、NPO会員及びNPO会員からの招待者は無料

・会場アクセス・

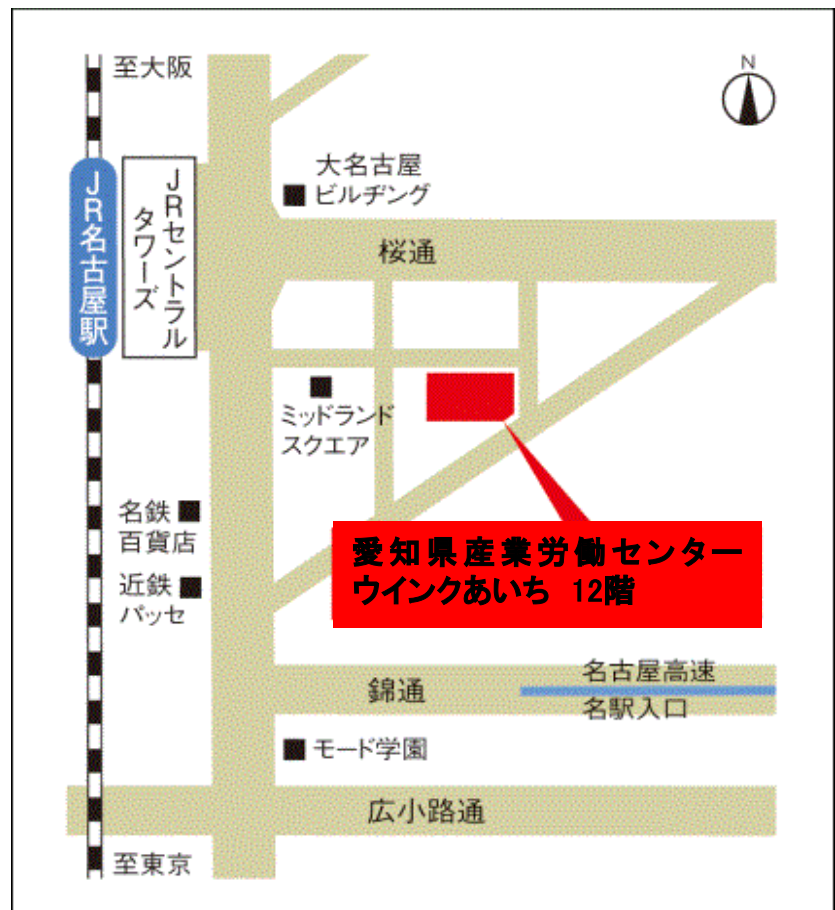
（JR・地下鉄・名鉄・

近鉄）名古屋駅より

◎JR名古屋駅桜通口から
ミッドランドスクエア
方面 徒歩5分

◎ユニモール地下街5番
出口 徒歩2分

※名駅地下街サンロード
からミッドランドスクエア、
マルケイ観光ビル、
名古屋クロスコートタ
ワーを經由 徒歩8分



【申し込み先、連絡先】

NPOバイオものづくり中部 事務局 担当：上井

〒460-0003 名古屋市中区錦1-5-32 錦KTビル4階（藤浪会計事務所内）

電話/FAX：052-203-2053 E-mail：support@bioface.or.jp

※会場準備の都合上、御社名、ご役職、ご氏名、メールアドレス、懇親会参加可否をご記入の上、平成29年1月6日（金）までにE-mail：support@bioface.or.jp までお申込みください。